

## 事務局から

▼9月26日研究所の総会を開催しました。新型コロナウイルス感染症防止のため、例年行っていた総会後の記念講演を中止したせいもあり、出席者は多くありませんでした。来年度総会は、通常通り開催できることを願っています。

▼菅義偉首相が日本学術会議会員の任命拒否をしました。この暴挙に多くの学会や団体が抗議の声を上げています。研究所も抗議声明を作成し、内閣府に郵送しました。

また、小林理事長を講師に、この任命拒否問題の所員学習会を開催しました（本来なら、会員に広くお知らせし実施すべきですが、コロナ禍で所員学習会としました）。今号に、小林理事長の論文を掲載しています。ぜひ、ご精読ください。

▼コロナ禍、少人数学級を求める声が大きく広がっています。少人数学級実現のためには、教員確保が必要です。

12月1日付のしんぶん赤旗に、「中教審部会で、教員免許更新新制の見直し検証を求める声が相次いだ。多忙

化に拍車をかけ、少人数学級を推進するうえでも、必要な教員確保の障害になる」との記事。多くの先生方に不評で負担感ばかりをあおる制度は即刻廃止すべきです。（和澄利男）

## 編集後記

▼新潟市内のメディアシップで開催されている「第51回県ジュニア美術展」を観賞した。作品は4つの階に分散して展示されていた。幼、小、中と成長すると共に、描く対象や表現方法が変化することが見て取れた。

今年にはコロナ騒ぎがあり、例年とは違った制作過程になったのではと推測される。そんな中でも、自由闊達に描き、作品造りの楽しさがしみじみと感じることができる作品に仕上がっていた。

▼今年の雑誌発行は、新型コロナウイルスの流行のさなかだった。対面での活動が制限されたために、訪問による取材機会が著しく減少した。

反面、現場職員の方々から執筆していただき、リアルな記述満載の記事を掲載することが出来た。

現場では「分かりたい・成長した

い」との子どもたちの思いにしっかりと寄り添って、教育の営みが続けられている。

▼感染拡大「第3波」まっただ中を迎えている。年末・年始の人々の行動が、今後を左右するだろう。ワクチンの接種に樂觀視することなく、可能なことを継続していきたいと思う。

そして、対面での活動が堂々とでき、笑い顔をしっかりと確認できる世の中にしたいたいものだ。

よい年をお迎えください。（小東）

### にいがたの教育情報 No. 133

2020年12月22日発行

編集・発行 にいがた県民教育研究所

発行人 小林 昭三

〒951-8116

新潟市中央区東中通1-86 山崎ビル

電話移転中 090-8614-1698(和澄)

振替口座・00640-0-12332

Eメール kyoiku@triton.ocn.ne.jp

印刷所・神林印刷

TEL 0254-66-7959

本誌内容の無断転載を禁じます。